

市政を問う！

一

般

質

問

交通網の充実に向けて
空家について

市政会 山田圭議員



問 ミニバスができた経緯は。公共施設の利便性の向上、交通弱者の社会参加促進、交通空白地域の解消、環境負荷の軽減等を目的としている。

答 現在のミニバスに対する要望はどういったものがあるか。

問 運行本数の増加、逆回りコースの設定、市外の病院や施設等への直行便の要望。バス停の環境はベンチ、風よけ、日よけの屋根等の設置の要望が多い。

答 市民のミニバスの利用を促進するための新しい取り組みは。

問 31年度の中頃にはダイヤの改正をしたい。バス場所を把握するためのバスロケーションシステムの早期導入を目指す。

答 空家の苦情件数と内容は。現在29年度8件、30年度1月末現在20件。内容についてはごみや植栽、倒壊危険のある建物の管理がなされていない。開けつ



問 放しの扉や窓から児童が侵入しケガなどが心配。不法侵入者がいて恐ろしい。台風等で一部の屋根が飛散した。テレビアンテナが飛びそう。空き家の外壁が落下しそう等。

答 空家対策の今後の取り組みは。

問 市としての様々な取り組みを市民に知らせていく。空家を有効利用していくため、様々な業界の人と相談をしながらしっかりと対応したい。

※GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停の表示板や携帯電話、パソコンに情報提供するシステム。

3月定例会では、17名の議員が一般質問を行いました。掲載文に関する文責は各議員にあり、内容に関するご意見やお問い合わせは議会事務局までご連絡ください。なお、質問の全文は、会議録や議会映像ネット配信で閲覧することができます。

市民サービスの向上と
保健事業の推進を

公明党 杉山千春議員



問 国は自治体の窓口業務の手續き簡素化に向けて動き出している。兵庫県三田市ではカウンターの一角に「おくやみコーナー」を置き、遺族が窓口から移動しなくても手続きができる仕組みをつくり対応。市民に好評である。知立市でも同様の取り組みはできないか。

答 今年4月から旅券発行事務が窓口で開始される。カウンタースペースに限りがあり現時点では厳しい。

問 昨年末、中央公民館内で営業していた喫茶店が閉店した。その後の活用の見通しは。

答 市職員のプロジェクトから地元農産物を使うカフェ利用の提案があり、農事組合法人「ア

グリ知立」がカフェ経営。3月19日に開店予定。

問 ミニバスに対する市民の声は「時刻どおりに運行してくれるのか」である。バスロケーションシステムの導入の考えは。

答 平成32年度頃の導入予定。

問 競泳選手の小田公表を機に骨髄バンク登録が増加。県も骨髄提供者の支援事業を発表。知立市の取り組みへの考え方は。

答 事業内容は、骨髄提供者の通院、入院等に補助1日2万円。骨髄提供者の勤務する事業者に対する補助1日1万円を。広報啓発活動もやっていく。



地元農産物扱うカフェ
(中央公民館)

子ども達のシビックプライドを育む取り組みについて

市政会 石川 智子 議員



問 子ども時代から本市の多くの文化遺産に親しむことで、将来にわたってこの街に愛着や誇りを持てるシビックプライドの醸成につながると考える。山車

文楽とからくりがユネスコ無形文化遺産に登録された知立まつりを、子ども達が親しみを持てる祭りになるような取り組みは。

答 保育園では山車の曳き手として参加、小中学校では山車文楽保存会による出前授業、山車文楽とからくりの鑑賞会などを実施している。

問 市内全域での知立まつりの認知度や関心を高めるため、観光事業としてPRする取り組みや、本市の50周年事業と知立まつりを連携させた催しなどの開催を検討してはどうか。

答 観光イベントを開催し魅力を積極的に発信することで、市民全体の認知度が高まり保存継承にもつながると考える。新規事業を起こすには50周年の節目はいい機会。保存団体とも協議していく。

問 中学校で行っている職場体験とは。

答 キャリア教育の一環で、今年度は2年生638人が市内外、延べ275の事業所で体験学習を行った。地域の人々とのつながりや働くことの大切さを実感するなどの成果が出ている。

※1 都市に関係する人々がその都市に対して持つ誇りや愛着のこと。郷土愛。

学校での日本語指導充実と通学路の踏切の安全対策を

日本共産党知立市議員 牛野 北斗 議員



問 外国人と日本人が地域で生活する多文化共生には日本語指導の役割は大きい。その認識は。

答 学校では日本語主体の教育になる。子どもの段階に応じた教育の推進や共生教育が大切。

問 東小学校の指導体制は。

答 県加配の日本語指導教員が8人。市独自の日本語指導助手が1人。通訳・翻訳者が3人。

問 東小学校の外国人児童は185人で児童数の63%。外国人児童が増え、教員の増員は必至。市費での増員は財政的に限界がある。教員配置は県の役割。教員の増員や、指導助手等補助事業実施の要請を。市長の考えは。

答 あらゆる手を尽くしたい。

問 杜若教室^{※2}では、一つの教室で小・中学生が学んでいる。対象者が増え、語学レベルや生活習慣の違いもあり、細やかな指導が困難との声もある。教室の増設や中学生版教室の創設を。

答 今後、研究する。



問 はかねてからの課題。狭く車両通行も多い。安全対策は急務だ。

答 まずは、踏切を渡ってから側溝を歩けるよう整備する。

問 国の改良すべき踏切の基準に該当するのでは。ぜひ調査を。

答 調査費を要求する。

問 毎日、交通指導員の配置を。配置の考えはない。

※2 市内の小中学校に在籍する日本語教育が必要な児童生徒に対して、初期の日本語教育や学校生活への適応指導を行う教室。通室期間は3か月以内が目標。東小学校内に設置。

新年度予算の取り組みと 学校教育について

立志会 永田 起也 議員



問 平成31年度の予算総額は過去最大である。施策の重点や特徴、また経常収支比率の悪化により見直したものは。

答 駅周辺整備に21億8千万円は普通建設事業全体の6割強と大きな割合を示している。また高齢者・障がい者施策などの社会保障関連に90億円超える予算配分をしており、逢妻保育園の乳児園化や子どもサポート教員増員などの子育て支援施策に集中的な予算配分をしている。一方、経常収支比率が高い数値を表していることから、経費の削減、維持管理の包括的委託や電気・ガス等の契約の見直し、細部まで見直しをしてきた。また、今年度から市民ニーズに沿った新規事業を実現するために予算編成に先立ち既存事業の改廃・見直しの事務事業点検を行った。

問 新年度に向けた学校教育方針の特徴と今後については。



知立小学校

な外国語教育など学習指導が大きく変わる時で、それに応じた教員研修や指導計画等の準備を進めていく。障がいのある生徒、また日本語指導が必要な児童生徒が増える中、一人ひとりの教育ニーズに適した特別支援教育の推進や健康面・体力づくりに力を入れていきたい。

※財政構造の弾力性を測定する指標。数値が低いほど弾力性があるとされ、政策的に使えるお金が多いことを示している。

当面の諸課題

民友クラブ 稲垣 達雄 議員



問 新林町にある「機織池」^{はたおりいけ}の整備要望が平成30年9月に提出された。提出に至る経緯は。

答 市も長年の課題と認識。新林町と共に平成23年から「安心安全で災害時に役立つ池」を目標に協議を重ね、新林町の方性が決まり提出に至った。

問 新林町の要望内容は。

答 ①池の埋立②災害時の防火水槽及び飲料水兼用耐震性貯水槽の設置③公園化に伴い「昔話」発祥地としてモニメント設置。

問 要望に対し市の検討結果は。

答 要望に沿い整備する方針。子どもたちを見守る観点から市街地から離れた通学路は防犯カメラが有効。推進すべき。

問 今年度から町内会設置のカメラも補助対象とした。

答 かきつばたの生育と、かきつばたまつり開催予定は。

問 生育状態は昨年よりも順調。まつりは従来どおり開催予定。

答 池の改修工事の進捗は。



機織池(新林町)

事 給水口分岐工事など実施。

問 市役所駐車場不足の認識は。

答 中央公民館で大きな催事や市で確定申告の受付・期日前投票・入園手続時等に不足を認識。

問 来訪者の分散化、ミニバス利用の促進、駐車場の立体化など早急に進めるべきでは。

答 費用対効果など検討する。